

第8回ポリネシア・リーダーズ・グループ会合に対する安倍総理大臣メッセージ

平成30年6月

ソポアンガ首相、
代表団長の皆様、

第8回ポリネシア・リーダーズ・グループ会合の開催に当たり、お祝い申し上げます。各国が自らの未来に強いオーナーシップを持ち、地域で結束しつつ、直面する諸課題により効果的に対応していこうとするポリネシア・リーダーズ・グループの御努力に心から敬意を表します。

また、先日の第8回太平洋・島サミット（PALM8）の場で、今次会合に御招待頂き、感謝申し上げます。日本とポリネシア諸国・地域は、豊かな太平洋の恵みを共に享受してきた歴史的パートナーです。気候変動、海洋、自然災害、違法漁業等、地域の直面する諸課題につき意見交換を行い、皆様との結束を一層強化すべく、今次会合に初めて、我が国代表として、大村昌弘駐ツバル大使を派遣いたします。

PALM8にて、私は、太平洋島嶼国を巡る戦略環境や課題の多様化を踏まえ、我が国は、「自由で開かれたインド太平洋戦略」に基づき地域の平和と繁栄により深くコミットしていく旨、そしてサブリージョンの取組とのより緊密な連携を追求する旨を表明しました。

我が国としては、地域が直面する諸課題に対応するため、最も効果的かつ持続的な方法は人作りであるとの考え方に立脚し、PALM8にて、日本は、今後3年間で、①自由で開かれ、持続可能な海洋、②強靱かつ持続可能な発展、③人的交流・往来の活性化、の3分野を中心に5,000人以上の人材交流・育成を実施することをお約束しました。

日本とポリネシア諸国・地域の未来は、太平洋を通じて密接に結びついています。今後、皆様の声にしっかり耳を傾け、日本の強みを活かしながら、気候変動、海洋、観光、連結性の強化等を始めとして、自由で開かれ、持続可能な地域の実現のため、皆様と一層緊密に協力していきたいと願っています。

日本国内閣総理大臣 安倍晋三